プレスリリース

2026 年 11 月 19 日

一般財団法人未来医療推進機構

Nakanoshima Qross「Global Startup Support」

創薬・再生医療分野のシーズ育成支援「Discover Stage」採択者を決定！

【問い合わせ先】一般財団法人未来医療推進機構　広報担当　TEL：06-6690-8973／Email：pr@miraikiko.jp

一般財団法人未来医療推進機構（所在地：大阪市北区、理事長：澤 芳樹。以下「当機構」）は、未来医療国際拠点「Nakanoshima Qross（中之島クロス）」を起点に実施するライフサイエンス・スタートアップ（以下「SU」）のグローバル展開支援「Global Startup Support」において、創業・シーズ育成支援プログラム「Discover Stage」（A：AI アクセラレーション、研究デザイン構築・非臨床データ蓄積支援／B：座学・実践アクセラレーション支援）の採択者を決定しました。

審査の結果、Discover Stage A については、10 者からの応募のうち 5 者を採択するとともに、Discover Stage B についても 5 者を採択し、創薬・再生医療分野の有望な研究シーズの発掘・育成と事業化に向けた支援を開始します。

■ 1．創業・シーズ段階からの事業化支援「Discover Stage」

当機構は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（NIBN）が公募した「革新的医薬品等実用化支援基金　創薬クラスターキャンパス整備事業」（令和 8・9 年度）において「創薬・実用化促進プログラム等支援事業」が採択され、「Nakanoshima Qross」を起点に、ライフサイエンス SU のグローバル展開を支援する「Global Startup Support」を実施しています。

「Discover Stage」は、有望な研究シーズの発掘・育成を重点的に行うプログラムです。世界で競争力を有するスタートアップを創出するためには、創業初期段階から有望な研究シーズを発掘・育成し、事業化へとつなげていくことが重要です。

このため、支援内容の異なる「Discover Stage A」及び「Discover Stage B」の 2 つの独立したプログラムを設け、2026 年 9 月 14 日（月）から 10 月 30 日（金）まで募集を実施しました。

このたび、「Discover Stage A」については、10 者からの応募のうち 5 者を採択するとともに、「Discover Stage B」についても 5 者を採択しました。

■ 2．A・Bプログラムの概要

項　目	Aプログラム	Bプログラム
名　称	**AI アクセラレーション** **研究デザイン構築・非臨床データ蓄積支援**	**座学・実践アクセラレーション支援**
支援内容	投資家に選ばれるための AI スクリーン支援及び専門家伴走による研究デザイン構築・非臨床データ蓄積を支援	大学・研究機の研究者を対象に、事業化とグローバル展開の基礎力形成を支援
協　力	Alloy Therapeutics 株式会社※1 株式会社 xCARE※2	BioLabs Academy 合同会社※3
採択件数	**5 件（応募 10 件）**	**5 件**

※1 Alloy Therapeutics 株式会社：米国発の創薬・バイオテクノロジー企業で、創薬技術プラットフォームを通じて研究開発や事業化を支援。

※2 株式会社 xCARE：医療・ライフサイエンス分野において、専門人材の活用等を通じ、研究開発から事業化までをグローバルに支援。

※3 BioLabs Academy：BioLabs のグローバルネットワークを基盤に、アカデミア発創薬シーズを臨床開発へ導くアクセラレーションプログラムを日本で企画・運営。

■ 3．Aプログラム採択者（5 者・五十音順）

ImmuniT Research Inc.	**イミュニティリサーチ株式会社** がん組織内の免疫環境を整え、キラーT 細胞の働きを支える独自の CD4 陽性 T 細胞「Th7R」を基盤に、免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測や、がん免疫療法の効果を高める新たな自家細胞治療の研究開発を推進しています。 公式 Web サイト：https://www.imtr.jp/
HOIST	**株式会社 HOIST** 大阪大学発のバイオベンチャー。MA-T®システムによる膀胱癌治療薬（第Ⅱ相）と ALKBH3 阻害による膵臓癌治療薬（リード最適化段階）を開発。患者由来のがん細胞・動物モデルによる創薬支援も展開しています。 公式 Web サイト：https://hoist-jp.com/
Rebirthel	**リバーセル株式会社** 多能性幹細胞からキラーT 細胞を再生することによって、大量に他家移植用のキラーT 細胞を作製する技術を有し、抗原特異性を T 細胞受容体（TCR）によって付加することで、他家 TCR-T 細胞療法という新しい治療法を、がんや感染症の治療に提供します。 公式 Web サイト：https://rebirthel.com/

	**リバスキュラーバイオ株式会社** 大阪大学発の創薬スタートアップとして、世界唯一の血管の幹細胞に関する独自技術を基盤に、失われた微小血管を再生する革新的な細胞医薬品を開発しています。難治性皮膚潰瘍や血友病など、治療選択肢が限られる疾患への新たな治療法の実現を目指しています。 公式 Web サイト：https://revascularbio.com/
田宮 寛之（関西医科大学） ES/iPS 細胞から機能的な脳の体内時計中枢（視交叉上核）を世界で初めて作製。発光イメージングで体内時計のリズムを可視化する評価系を用い、交替勤務に伴う睡眠障害の経口治療薬を探索・開発します。 公式 Web サイト：https://researchmap.jp/tamiyatky	

■ ４．Bプログラム採択者（５者・五十音順）

氏　名	組織名	所属部署・役職等
稲垣　千代子	関西医科大学	名誉教授
川村　文彦	関西医科大学	医学部病理学講座・KMU 博士研究員
林　美樹夫	関西医科大学	生理学講座・講師
比賀江　文子	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科　博士後期課程
横内　裕二	株式会社精密編集	代表取締役

■ ５．今後の展開

Aプログラム採択者に対しては、Alloy Therapeutics 株式会社及び株式会社 xCARE の協力による「AI アクセラレーション、研究デザイン構築・非臨床データ蓄積支援（投資家に選ばれるための AI 支援、ライフサイエンス系専門家のアサインメントによる研究デザイン構築・非臨床データ蓄積支援を組み合わせたプログラム）」を実施します。Bプログラム採択者に対しては、BioLabs Academy 合同会社の協力により、座学・実践型アクセラレーションプログラムを通じて、事業化とグローバル展開の基礎力形成を支援します。

また、「Global Startup Support」全体を通じて、採択者を Nakanoshima Qross のグローバルスタートアップエコシステムにより、海外トップクラスのグローバルクラスター、海外 VC・投資家、グローバル製薬企業、KOL（キーオピニオンリーダー）、海外市場・事業パートナーへ接続し、世界市場での成果創出までを一体的に支援してまいります。

■ 創薬クラスターキャンパス整備事業の採択について

「創薬クラスターキャンパス整備事業」は、厚生労働省所管の「革新的医薬品等実用化支援基金」（管理：NIBN）による事業であり、研究開発の早期段階からアカデミア・スタートアップ等のシーズを育て、実用化まで連続的に支援する創薬エコシステムの構築を目的としています。当機構は、Nakanoshima Qross を中核とした創薬クラスター

の形成に向けて本事業に採択され、SU の発掘・育成から海外クラスター・海外 VC・製薬企業等との接続、世界市場での成果創出までを一体的に支援する体制を構築します。

■ Nakanoshima Qross（中之島クロス）について

Nakanoshima Qross は、再生医療をはじめとする「未来医療」の実用化・産業化およびその提供を通じた国際貢献を推進することを目的に、産官学医の多様なプレイヤーが一つ屋根の下で集い、交流・共創を加速できる拠点です。当機構はその形成・運営を担っています。

公式サイト：https://www.nakanoshima-qross.jp/

以　上